

4

基本理念・基本方針

4-1

基本理念

基本理念・基本方針とは

新総合体育館整備における、考え方の根幹となるものです。
基本理念・基本方針に基づき、導入機能等を検討します。

基本理念

新総合体育館の**目指すべき姿**を示します
新総合体育館整備の**骨格となる考え方**です

基本方針

基本理念を実現するための
新総合体育館像を示します

基本理念・基本方針の検討の流れ

上位・関連計画、本市の課題、アンケート調査結果などを踏まえ、基本理念・基本方針を設定します。

【1】国・道のスポーツ関連施策、市の上位計画・関連計画

【2】課題の把握

- ・ 小樽市の状況（将来人口等）
- ・ 現総合体育館の現況・利用状況
- ・ 市内関連施設の概況

等

【3】市民意見（アンケート調査結果）

- ・ 現総合体育館で不便に感じること
- ・ 新総合体育館の利用目的
- ・ 新総合体育館に望む機能

等

基本理念

基本方針

方針1

方針2

・ ・ ・ ・ ・

基本理念・基本方針の検討

【1】国・道のスポーツ関連施策、市の上位計画・関連計画

・関連施策、上位・関連計画から、重要なキーワードを抽出

上位・関連計画	キーワード
スポーツ基本法	スポーツに親しむ／競技水準の向上／障害者等の利便性の向上
スポーツ基本計画	「する」「みる」「ささえる」／スポーツを「つくる／はぐくむ」／「あつまり」、「ともに」活動／つながり／全ての人々がスポーツにアクセスできる
北海道スポーツ推進計画	北海道と世界をむすぶ／スポーツで変わる北海道民／スポーツで変える
小樽市総合計画	健康増進／子どもたちのスポーツ振興／安全で快適にスポーツができる施設
小樽市都市計画マスタープラン	身近なスポーツやレクリエーションなどの場／潤いのある空間／安全で快適
小樽市公共施設等総合管理計画	避難所の位置付け／建替え
小樽市過疎地域持続的発展市町村計画	市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しむ／スポーツ・レクリエーション活動や健康づくりなどの拠点施設／安全・安心
小樽市温暖化対策推進実行計画	省エネ化／高断熱・高気密化／省エネ型設備の導入／ZEB化の検討／太陽光発電等の再生可能エネルギー設備を設置
小樽市教育推進計画	スポーツ活動や健康づくりなどの拠点施設／安全・安心／適正な運営と維持管理
小樽市総合体育館長寿命化計画	災害時の避難所開設／健康寿命の延伸／多世代交流／多目的空間／交流空間／安心・安全空間

基本理念・基本方針の検討

【2】課題の把握

- ・小樽市の現況、新総合体育館長寿命化計画における課題から整理

①人口減少・少子高齢化の進展、本市の厳しい財政状況

- ・人口減少を踏まえ、将来に過大な負担とならない施設整備
- ・高度成長期に建設された公共施設の更新
- ・効率的・効果的な施設の整備、維持管理・運営

②耐震性確保やユニバーサルデザインへの対応

- ・旧耐震基準施設であるため、建替えに合わせた十分な耐震性の確保
- ・災害への対応（災害備蓄庫等の防災機能の整備）
- ・施設の老朽化（外壁等のひび割れ、雨漏り、設備の使用中止等）
- ・ユニバーサルデザインへの対応

③その他の課題

- ・省エネルギー及び再生可能エネルギーへの対応
- ・駐車場不足への対応
- ・長寿命化延伸へ向けた、個人が通年で使用できる環境の整備

基本理念・基本方針の検討

【3】市民意見（アンケート調査結果）

①現総合体育館に対する意見から

- 現総合体育館の不便な点として、「駐車場の不足」や「交通の便が悪い」が多く挙げられており、施設へのアクセスに関する改善が求められています。
- 体育館、プールともに、競技者以外の市民にはあまり利用されていない実態があり、誰でも気軽に利用でき、魅力ある施設への転換が求められています。

②新総合体育館の主な利用目的から

- 体育館については、市民アンケートでは、トレーニング・ランニング等、個人で気軽に取り組むことができる施設を求められており、団体アンケートでは、アリーナ（サブアリーナ含む）の整備が求められています。
- 体育館には、日常的なスポーツ活動に次いで、コンサート・イベント等のスポーツ以外の利用が求められています。
- プール室については、水泳プールは1.1m～1.2m程度の深さが求められており、水泳プール以外に歩行用プールの設置が求められています。また、利用用途については、市民は健康増進が多く、団体では練習利用が多くなっています。

③新総合体育館に望む機能から

- 新総合体育館に望む機能としては、市民アンケートでは「災害発生時に避難場所や防災拠点となる機能を備えた体育館」を求める意見が最も多く、次いで「バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した体育館」「個人や少人数でも気軽に利用できる体育館」「将来を見据え、コスト削減に配慮した体育館」「省エネルギー・省資源に配慮した体育館」を求める意見が多くなっています。
- 一方、団体アンケートでは、「市民大会や地区大会などのアマチュアスポーツの大会が開催できる体育館」を求める意見が最も多くなっています。

基本理念・基本方針の検討

■キーワードのまとめ

【1】関連施策、【2】課題の把握、【3】アンケート調査から重要なキーワードを抽出し、大きく4つの要素に分類しました。

①スポーツ振興・健康

【1】関連施策

「スポーツに親しむ」「競技水準向上」「身近な」
「いつでも、どこでも、いつまでも」「健康寿命延伸」
「気軽に」「健康づくり」「する／みる／ささえる」
「スポーツをつくる／はぐくむ」「スポーツで変える」

【2】課題の把握

「長寿命化延伸」

②にぎわい・交流

【1】関連施策

「交流空間」「集まる」
「拠点施設」「多世代交流」「多目的空間」「潤い」

【3】アンケート調査

「魅力ある施設」「個人」「誰でも気軽に」

③安全・安心

【1】関連施策

「全ての人々がスポーツにアクセス」「安全・安心空間」
「快適」「誰もが利用しやすい」

【2】課題の把握

「災害への対応」「ユニバーサルデザイン」

【3】アンケート調査

「ユニバーサルデザイン」「避難場所・防災拠点」

④持続可能

【1】関連施策

「適正な運営と維持管理」

【2】課題の把握

「過大な負担」「費用の確保」「効率的・効果的」
「省エネルギー及び再生可能エネルギー」

【3】アンケート調査

「将来を見据えコスト削減」「省エネルギー・省資源」

基本理念（案）

関連計画、課題の把握、アンケート調査結果を踏まえた4つの要素をベースに、基本理念として、以下の3案を提示します。

案
1

誰でも、いつでも

②にぎわい・交流
③安全・安心
・ユニバーサルデザイン

いつまでも

④持続可能

皆が集まる

②にぎわい・交流

スポーツ拠点

①スポーツ振興・健康

案
2

誰もが集い

②にぎわい・交流
③安全・安心
・ユニバーサルデザイン

未来へ続く

④持続可能

スポーツ拠点

①スポーツ振興・健康

案
3

100年を生き

①スポーツ振興・健康
・健康寿命延伸

次世代につなぐ

④持続可能

誰もが

安心して集える

②にぎわい・交流
③安全・安心

にぎわい創出拠点

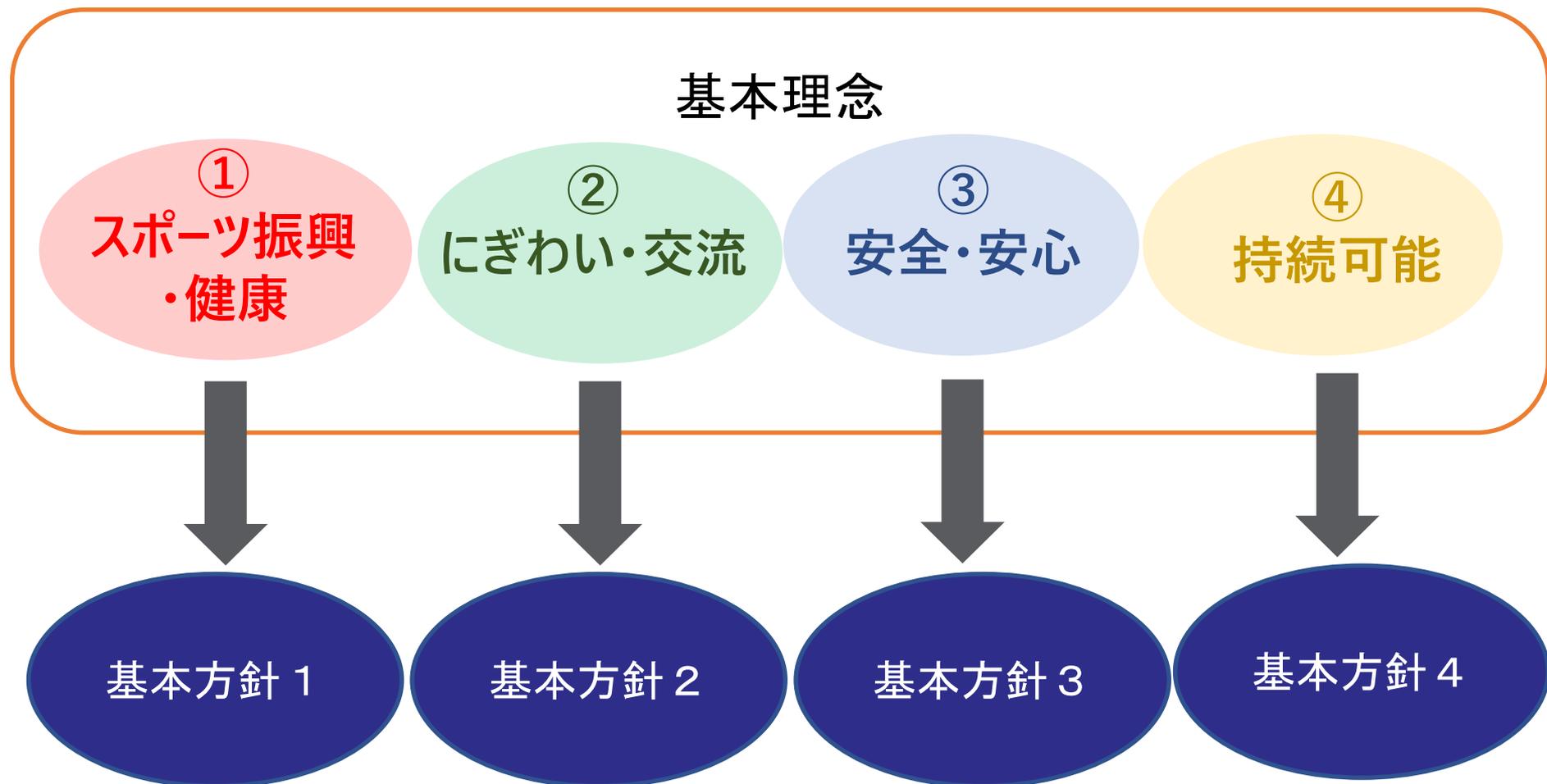
②にぎわい・交流

4₋₂

基本方針

基本方針の検討の流れ

- 「基本理念」を構成する4つの要素から、これらを実現する「基本方針」を定めます。



基本方針（案）

- 基本理念を実現するための新総合体育館像として、四つの基本方針を定めます。

方針 1

市民のスポーツ活動を推進し、健康寿命延伸に寄与する体育館

- ・ 現在開催されている各種競技の大会に対応した機能
- ・ 冷房設備の導入など、快適な競技環境
- ・ ランニングコースの設置など、一人でも気軽にスポーツができる機能
- ・ プール室を併設し、スポーツ施設の集約化による利便性の向上

方針 2

気軽に市民が集い、多世代の交流を生み出す体育館

- ・ 親子でも安心して利用できる機能
- ・ 子どもが運動に親しみ、楽しく体を動かすことができる機能
- ・ 子供からお年寄りまで、多世代が交流できる市民交流機能
- ・ 各種イベントの開催機能

基本方針（案）

- 基本理念を実現するための新総合体育館像として、四つの基本方針を定めます。

方針 3

防災機能を備えた、安全・安心な体育館

- ・ 災害時にも機能を維持することができる耐震性の確保
- ・ 非常用電源や災害備蓄庫など、災害時の避難所機能
- ・ 誰もが安全・安心に利用できるユニバーサルデザイン

方針 4

環境に配慮し、将来を見据えた、持続可能な体育館

- ・ 省エネルギー化及び再生可能エネルギーの活用
- ・ 人口推計や現在の稼働率を踏まえた、効率的かつ適正な規模と運営